

1 1 月 集 会 4 8 0 0 人 の 団 結 の 力 で 改 憲 国 会 粉 砕 、 星 野 奪 還 の 大 決 戦 へ

11・4 全 国 労 働 者 総 決 起 集 会 / 改 憲 阻 止 ! 1 万 人 大 行 進 は 、 全 国 から 4 8 0 0 人 が 結 集 し 、 希 望 と 確 信 あ ふ れ る 集 会 ・ デ モ が 闘 い と ら れ た 。 戦 後 史 上 最 大 の 階 級 決 戦 で あ る 改 憲 ・ 戦 争 阻 止 闘 争 、 そ の 基 軸 を 担 う 階 級 的 労 働 運 動 の 本 格 的 な 爆 発 の 時 代 が い よ い よ 到 来 し た 。 集 会 で は 「 関 西 地 区 生 コ ン 支 部 へ の 弾 圧 を 許 さ な い 」 集 会 決 議 が 採 択 さ れ 、 「 改 憲 ・ 戦 争 阻 止 ! 大 行 進 の 発 展 を 」 の ア ピ ー ル が 日 本 の み な ら ず 全 世 界 に 向 か っ て 発 せ ら れ た (前 号 に 掲 載) 。 帝 国 主 義 ・ 新 自 由 主 義 の 矛 盾 の 爆 発 、 大 恐 慌 と 世 界 戦 争 の 危 機 、 争 闘 戦 激 化 に 迫 い つ め ら れ 改 憲 ・ 戦 争 に 絶 望 的 に 突 き 進 む 安 倍 を 巨 万 の 「 大 行 進 」 で 打 倒 し よ う 。

「 大 行 進 」 運 動 と 国 鉄 闘 争 が 前 進

11・4 集 会 は 、 全 国 各 地 の 「 改 憲 ・ 戦 争 阻 止 ! 大 行 進 」 運 動 と 国 鉄 闘 争 全 国 運 動 、 階 級 的 労 働 運 動 の ね ば り 強 い 不 屈 の 前 進 を 土 台 と し て か ち と ら れ た 。 集 会 で 発 せ ら れ た 「 改 憲 ・ 戦 争 阻 止 ! 大 行 進 の 発 展 を 」 の ア ピ ー ル は 、 次 の よ う に 闘 い の 方 針 を 提 起 し て い る 。

「 改 憲 発 議 を 許 さ ぬ た め に 全 国 各 地 で の 闘 い を 強 化 し よ う 。 憲 法 審 査 会 へ の 改 憲 案 の 提 出 、 沖 縄 ・ 辺 野 古 へ の 土 砂 投 入 な ど 、 具 体 的 な 動 き が あ っ た 場 合 は 緊 急 行 動 を 呼 び け け ます 」

「 当 面 す る 目 標 は 来 春 通 常 国 会 の 過 程 ま で の 約 半 年 で す 。 全 国 の 職 場 ・ 地 域 に 無 数 の 大 行 進 運 動 を 組 織 し よ う 。 青 年 が 先 頭 に 立 つ 運 動 体 に し よ う 」

「 この 闘 い が 全 体 を 獲 得 す る 力 を 持 つ た め に 、 改 憲 に 向 け た 労 働 運 動 解 体 攻 撃

の矢面に立つ J R ・日教組 ・自治労で労働運動の前進をめざす新たな闘いの旗を立てよう。関西地区生コン支部への弾圧、J R で吹き荒れる労組攻撃を打ち破ろう。全国で関生弾圧弾効の決議を上げよう」

「人類の生存を脅かす危機から世界を守る力は労働者階級の国際連帯から生まれます。ロウソク革命を闘った韓国 ・民主労総に続こう。本日を出発点に、安倍政権を打倒する新たな闘いに立ち上がろう！」

このアピールをはじめ、11 ・ 4 集会の発言のすべてが、改憲 ・ 戦争に突き進む安倍政権を打倒する階級的団結の力を生み出している。とりわけ関生支部弾圧との闘いは改憲をめぐる攻防の最先端である。関生支部は完全黙秘を武器に闘い、7 月以来の弾圧で不当逮捕された組合員 23 人のうち 19 人を 11 月 2 日に奪還した。同日、武建一委員長らの第 1 回公判をかちとり、団結を守り抜いて前進している。この闘いと固く団結し、11 ・ 4 集会当日に不当逮捕された全学連の 2 学生をただちに奪還しよう。

大幅賃下げ阻止、特区連ストへ！

11 ・ 4 集会に向かう過程は、動労千葉、動労水戸、動労総連合を先頭に、全国各地の職場生産点から闘いを積み上げ、安倍政権の労組絶滅攻撃を打ち破っていく過程だった。重要なことは、この闘いが「改憲 ・ 戦争阻止！ 大行進」を全国につくりだし、命と人生をかけて戦争を阻止するという労働者階級人民の根底的な決意と決起を無数に生み出してきたことだ。この攻防の最先頭に教育労働者と自治体労働者が登場した。

また 11 ・ 4 集会での過労死遺族の訴え（2 面に掲載）は、すべての労働者

階級人民の共感と決起を呼び起こさずにはおかないものだ。安倍の「働き方改革」との闘いはこれから全面的に爆発していく。

韓国・民主労総をはじめとする国際連帯の闘いも、戦争・改憲攻撃の激化のもとで新たな発展を切り開きつつある。民主労総はこの間、日常不断の労働者の組織化を通じて着実に組織拡大を実現してきた。

また今回、台湾から来日した桃園市産業総労組書記のウーチャホンさんが 11・4 集会に参加し、その翌日には動労千葉国際連帯委員会や合同・一般労組全国協とともに富士ゼロックス本社への抗議行動を闘った。台湾富士ゼロックス労組との画期的な国際連帯の取り組みが始まった。

こうした 11・4 集会の成果を踏まえ、国鉄決戦は 19 年 3 月ダイヤ改悪阻止の闘いへただちに突入する。第 3 の分割・民営化粉碎、JR 乗務員勤務制度改悪阻止、分社化一非正規職化阻止の決戦を闘い抜き、動労総連合の組織拡大をすすし進めよう。

また東京都特別区の人事委員会勧告をめぐる攻防は掛け値なしの決戦だ。「人勧史上最悪」の月 2 万円近い大幅マイナス勧告は区職、清掃の常勤職員、非常勤、臨時職員、委託労働者に及ぶ。会計年度任用職員制度と併せ、社会一自治体のあり方を一変させる。すでにスト方針を求める現場の決起が始まっている。

へ の こ き ち けんせつそし あべたお 辺野古基地建設阻止し安倍倒せ

安倍政権は沖縄で巻き起こる抗議の声を踏みにじり、11 月 1 日に辺野古新基地建設の工事再開を強行した。2 日には入管法改定を閣議決定し、衆議院に法案

ていしゆつ こつかい ほせいよさん ふつか じつしつしんぎ さいけつ にゆうかんほうかいてい
 を提出した。国会では補正予算をわずか2日の実質審議で採決し、入管法改定
 かいけんこくみんとうひようほうかいてい とつしん
 と改憲国民投票法改定へ突進しようとしている。

たほう ていこくしゆぎ せいけん いつか げんゆとりひき たいしよく たい
 他方でアメリカ帝国主義・トランプ政権は5日、原油取引などを対象とした対
 せいさい さいかい もうはんぱつ どうどう げんゆ う せいめい
 イラン制裁を再開した。イランはこれに猛反発し、「堂々と原油を売る」と声明
 ちゆうごく おうしゆうしよこく ゆしゆつ けいぞく かま
 して、中国や欧州諸国への輸出をあくまで継続する構えだ。

べいちゆうかんせんきよ べいこくだいいち そうとうせんせん げきか はい
 トランプは米中間選挙をにらんで「米国第一」の争鬪戦戦略を激化させ、排
 がいしゆぎ ちゆうべいしよこく いみん はいじよ さいだい まん せんじん べいぐん
 外主義をあおり、中米諸国からの移民を排除するために最大1万5千人の米軍
 ぶたい こつきよう はけん ひようめい なぬか かいひよう ちゆうかん
 部隊をメキシコ国境に派遣することも表明した。だが7日に開票された中間
 せんきよ かいん よとう きようわとう かはんすうわ せいけん しんこく だげき あた
 選挙では、下院で与党・共和党が過半数割れとなり、政権に深刻な打撃を与え
 う きようぼうか せんそう はいがいしゆぎ こうげき いつそうお
 た。トランプはこれを受けてますます凶暴化し、戦争と排外主義の攻撃を一層推
 すす
 し進めようとしている。

なか にほん しゆうかい かんこく たたか ろうどうくみあい こく
 こうした中で、日本の11・4集会がアメリカや韓国の闘う労働組合との国
 さいれんたいとうそう けつていき いま もと
 際連帯闘争としてかちとられたことは決定的である。今、求められていることは、
 たたか しよくば ちいき がくえん もうぜん かくだい
 この闘いをあらゆる職場・地域・学園に猛然と拡大していくことである。その
 かくきようどう ろうどううんどう どう ひやく
 ために、革共同が「労働運動のできる党」へと飛躍しなければならない。

じゆうよう かくめい しようり たたか
 重要なことは、レーニンとボリシェビキがロシア革命に勝利する闘いのな
 だ しん さいぼうせい かくとく ちゆうおう ちほう ちく さんべつ いったい
 かでつくり出してきた真の細胞性の獲得、〈中央・地方〉〈地区・産別〉が一体
 たたか だ だんけつ ふだん けいせい
 となった闘いがつくり出す団結の不断の形成である。

しゆうかい とうたつ ちへい ふ さいぼう だんけつ いつち だ さいぼう
 11・4集会の到達した地平を踏まえ、細胞の団結と一致をつくり出し、細胞
 ね きかんしかつどう ふくつ てんかい たたか どう ろうどうくみあい しん いったい
 に根ざした「機関紙活動」の不屈の展開を闘いとり、党と労働組合の真の一体
 てきぜんしん たたか
 的前進を闘いとろう。

ねんけつせん そうだい ぼくはつ ぜんしん
 19年決戦の壮大な爆発へ前進しよう。